

災害廃棄物の処理における石綿の適正管理に関する研究

研究期間:平成24～26年度

代表研究者:山本貴士(国立環境研究所)

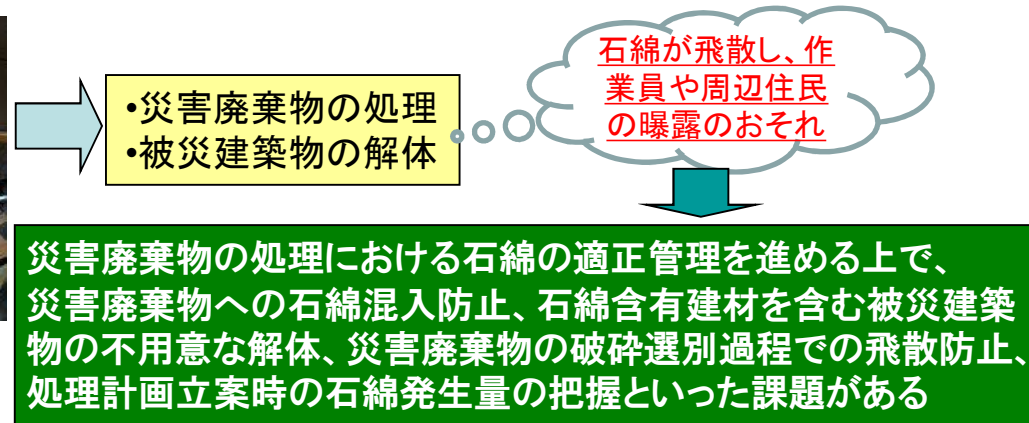
研究の背景

災害廃棄物の速やかな処理は、被災地の復旧・復興に重要。しかし…

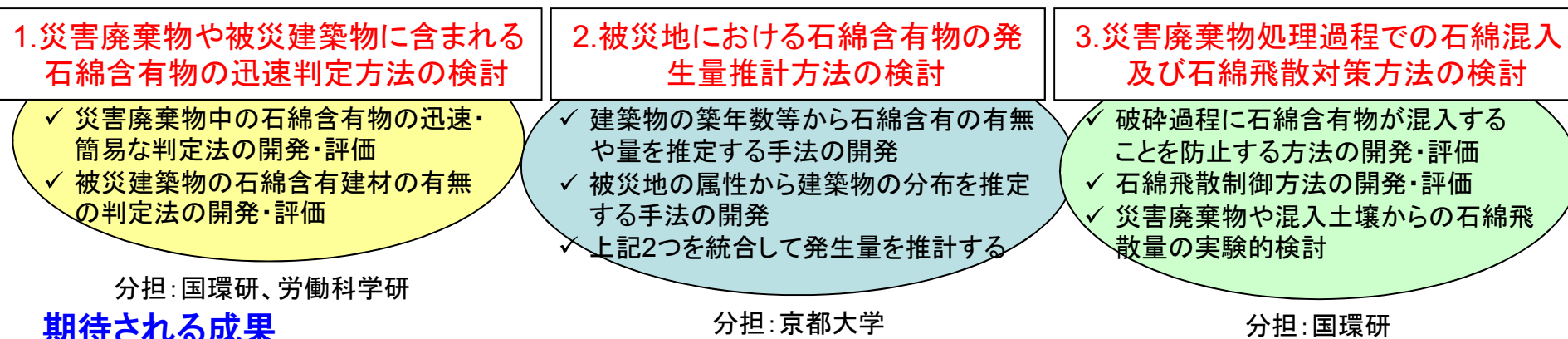


災害廃棄物や全半壊した建築物、船舶等に石綿含有物が混入(国環研、労働科学研等の調査で判明)

「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」は少なくとも事前選別に関しては有効に機能していない？



研究の内容



期待される成果

- 石綿含有物を迅速かつ簡易に判定し、現場で適切に管理できる方法の提供
- 石綿含有物の発生量の推計方法を提供し、今後発生する災害廃棄物の処理計画策定段階での活用
- 災害廃棄物の破碎選別等の処理過程での石綿飛散防止方法の提供
- 「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」の実効性評価と将来的な改訂のための知見の提供